
ジョニーとジョニアン

ごはんライス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ジョニー・ジョニアン

【著者名】

じはんライス

【あらすじ】

2000字設定したが、ややオーバー。民生の曲にある「だかーらー」とのを最後に持つてきた。

アメリカンな朝に君はいない。」うなつたのも、タイム・アウトしたからだ。鼻が膨らむ。苦しい。誰か助けてくれ。風船が膨らむ風景。

「来ないのかジョニー？」

「殺してくれ。二万ドルくれ」

「食べていい？」

気持ち悪い。腐ってる。暑いから、緩めてくれ。苦しいから逃げてくれ。そのうち、ラブが始まる。一時間後だ。待ちきれない。苦しい。さつ。さつ。さつ。さつ。さつ。

鎌倉の我慢比べの寿司の上に狂った敦がまどろむ。キムチがそのまま村に更に苦しい形の夕焼けが陰鬱な山を写し取った。美しい。なかなか強盗だと、だからか。カマンベールが来た。待て。松山にしる。これからだ。山を染めとけ。辞めて。病んでるヤング・ポチヨムキン。

ポタージュ。

ぐりっとぐりぐりぐり。鴨下の狂い咲き作業。詐欺師と田舎者。陰鬱なラブ。

「読めるか。込めるか。松山市あいつに、踝をかましてきたから、やむを得ず、やむ。祭りだ。祭りだ」

「やめろ！」

「いやだ」

カマンベールの卵がサマーかわいい狼煙のアメリカン。カマンベールが苦しみの、ソーダです。水着を、体が粗末な比べたらそうしてみます。

かます。

上のような文章を延々と続ければ、新人賞をとれない。

とはいっても、まったく無意味かといえばそうでもない。作者の混乱が表現できている。

現在、作者は混乱している。今まで作者は、アルバイトをしながら小説を書いてきた。しかし、新人賞に落選してしまったし、アルバイトも十年を越してしまった。だから、混乱しているのである。

とはいっても、前進はしないといけない。

辛さを無視し、とにかく書き進める。がたがたぬかしとる暇はない。たけしは、授業中に寝てしまった。夜中まで小説を読んでいたからである。先生に頭を叩かれた。「痛い！」みんなにげらげら笑われた。

たけしは部活が終わると、すぐに書店に駆けつけた。今日は好きな作家の新作の発売日なのである。

たけしは、発見し、ぱらぱらとめぐり興奮してくる。紙から熱気が伝わる。いろいろな嫌なことが身体から抜けていく。しかし、たけしは、あわてた。財布を忘れたのだ。

たけしは、家に帰り、小説を書き始める。新作はあきらめた。財布を見たら一百円しか入ってなかつたのだ。

たけしは書いたり読んだりするたびに思うのだが、小説より生きる

ことが大事だなあと。小説は確かにいいものだけど、生きることには敵わないなあと思う。たけしが好きな作家が過労自殺したのをニュースで見てから真剣にそう思つ。

とはいへ、特攻隊はどうなるんだ。たけしは、特攻隊に対しても否定的ではない。

「ふうむ。このあたり文学的テーマになるな。確かに、特攻隊員は、平和を望んでいたかもしれない。生きたかったかもしれない。しかし、平和な今、生きることが苦痛な若者がたくさんいる。自殺を考えてる若者がたくさんいる」

たけしは腕を組み、背もたれにもたれる。もたれすぎて、倒れてしまつた。「いててててて」たけしは、ロリ華に電話した。

ロリ華の家で宿題をする。ロリ華のお母さんが晩御飯食べできなさいと言う。たけしの家は母子家庭で母親が看護婦で夜勤。今日はカツブめんの予定だったから大喜びだ。まあちょっと狙つてたというものもあるが……。

「このから揚げうまいですね」

「トカゲのから揚げよ」

「ええっ」

「ふふふふふ」

「なんだあ。うそですかあ」

「ほんとにトカゲよ」

「ええっ」

ロリ華が風呂に入つてゐる間、たけしは緊張してきた。夜遅くまで宿題をしてたので、泊まつていきなさいよと言われたのだ。当たり前だが、たけしは中学生だから童貞である。鼻血が出てきた。

たけしは、ノートに小説を書き始めた。

ふとタンスが気になる。「あそこにはロリ華のブラやパンティ……

たけしは、いけないことを考えた。

たけしは、タンスに手をモンドミン。これ増す北村その足を。それを見つけて何思う。踏んだ陰鬱さりとて、それも慕情。狂った矢先に資本主義と格闘した、インドの陰鬱。それがジョニーとジョニーアンの、番狂わせが北向きになつて、まろまろに、ぐりつて、ばばばばばばば。もりもりもりもり。

お——————！！！

これはいかん。また混乱してきた。

ちきしきよ。アルバイトを長くやつてると頭が狂つてしまふ。新人賞が当選していれば、まだ救いはあつたが。一体オレはどうすればいいのか。とほほほほほ。

と悩んでいても仕方ない。進まないといけない。死ぬわけにはいかない。生きるのが大事だ。プロ作家は難しいかもわからん。アルバイトは低賃金だ。けど、生きるのだ。生きるのが大事だ。生きてりやいいことがある。死ねばない。それはたけしだつて同じだ。

たけしといっしょにがんばる。特攻精神でがんばる。日本をよくする。過労死するまでがんばるのはいけない。しかし、がんばる人が一人もいなくなれば、日本は倒産してしまう。アルバイト。確かにみんなバカにしてる。半人前だと思ってる。だけど、アルバイトが手を抜いたら、現場は機能停止状態に陥る。当たり前だ。現在は、非正規が1700万人なのだ（1985年は、600万人）三人に一人が非正規なのだ。毎週土曜日は社員が休んでアルバイトが出勤している。

小説。難しい。電撃小説大賞は5000人。すばる文学賞は1300人。合格する方がミラクルだ。一生アマチュアかもわからん。しかし、小説は単に食つていくためだけにやつてない。食うためなら正社員でもいい。小説を選んだのは、小説を書きたいからだ。読みたいからだ。だから。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8865y/>

ジョニーとジョニアン

2011年11月26日17時58分発行